

ろうやに入れられた ニーファイとリーハイ

だい37しょう



—— ニーファイとリーハイはヒラマンのむすこです。ヒラマンはエ
—— ルサレムからやって来たリーハイとニーファイのように、正
しい人になってほしいと思ったのです。(ヒラマン5：4-7)



ヒラマンはむすこたちに、イエス・キリストをしんじるように教
えました。二人は、しんこうとくいあらためを通つてつみがゆるさ
れることを学びました。(ヒラマン5：9-12)



二人はニーファイ人とレーマン人に、神のこたばを教えに出て行
きました。そして何千人もの人々がバプテスマをうけました。(ヒラ
マン5：14-19)



ニーファイとリーハイが、ニーファイの地へむかっている時でし
た。二人はレーマン人のぐんたいにとらえられ、ろうやに入れられ、
何日も食べものをあたえられませんでした。(ヒラマン5：20-
22)



レーマン人たちが二人をころそうとやって来たところ、二人は手
を出そうとする人をやきほろぼしてしまいそうな火のようなもの
につつまれていました。そのために、レーマン人たちは二人をころす
ことができませんでした。(ヒラマン5：22-23)



ところが、ニーファイとリーハイはやかれませんでした。二人は
レーマン人たちに、自分たちが神の力によってまもられていること
を話しました。(ヒラマン5：24-26)



すると、じめんがゆれ、ろうやのかべがゆれうできました。ろう
やの中にいたものたちは、あんこくの雲にかこまれたので、おそろ
しくなりました。(ヒラマン5：27-28)



その時、あんこくの雲の上の方から声がありました。それはささや
くような、しずかな声でしたが、すべての人はこの声を聞きました。
(ヒラマン5：29-30)



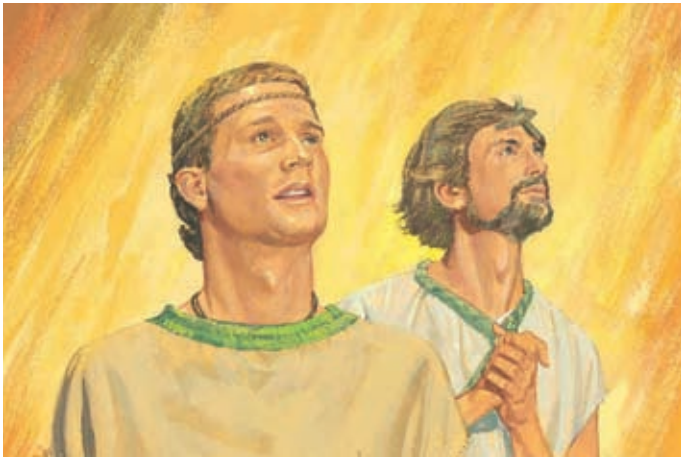
その声は人びとにくいあらためて、ニーファイとリーハイをころ
さないように言いました。(ヒラマン5：29-30)



3ど目に声があった時、またじめんがゆれ、かべがゆれうできまし
た。レーマン人たちは、あまりのくらさとおそろしさで、にげるこ
とができませんでした。(ヒラマン5：33-34)



前に教会いんだったニーファイ人が、あんこくの雲を通して見る
と、ニーファイとリーハイの顔がかがやいていました。(ヒラマン
5：35-36)



二人は天をあおいで、話していました。男の人がレーマンたちにそのようすを見るように言いました。レーマンたちは、二人はだれと話しているのだらうと思いました。(ヒラマン5：36-38)



そこでアミナダブというその男は、「二人はてんしたちと話している」と言いました。(ヒラマン5：39)



レーマンたちが「あんこくの雲をはなれさせるにはどうしたらいいか」と聞くと、アミナダブは答えました。「くいあらためて、イエス・キリストをしんじるしんこうをもてるまで、神にいのらなくはならない。」(ヒラマン5：40-41)



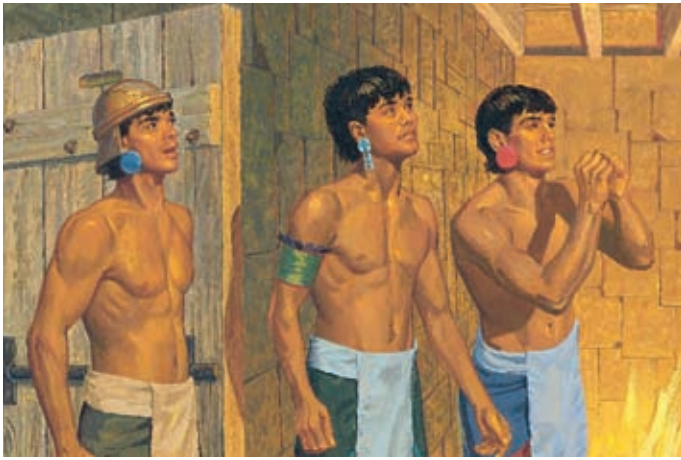
レーマンたちは、あんこくの雲がきえさるまでのりつづけました。(ヒラマン5：42)



あんこくの雲がきえると、こんどはみんなが火のはしらにとりまかれています。火はかれらも、ろうやのかべもやきませんでした。(ヒラマン5：43-44)



レーマンたちは、大きなよろこびをかんじました。かれらの心は、神のみたまにみたされました。(ヒラマン5：44-45)



そして、イエス・キリストをしんじるしんこうがあるので、心こころにへいあんがあるでしょうと言うささやくような声こゑが聞こえました。(ヒラマン5：46-47)



レーマン人じんたちは、その声こゑのする方ほうを見上げました。すると、てんあましたちが天あまからくだって来きていました。(ヒラマン5：48)



これらのことを見聞きみきしたものは、およそ300人にんいました。かれらは、自分たちが見聞きみきしたことを人びとにつたえるためために出て行いきました。(ヒラマン5：49-50)



大半たいはんのレーマン人じんは、このことをしんじて、ぶきをなげすてました。(ヒラマン5：50-51)



そして、ニーファイ人じんへへのくしみをすてて、ニーファイ人じんからうばった土地とちをかえしました。こうしてレーマン人じんは、ニーファイ人じんにもまさって正ただしい人ひととなりました。(ヒラマン5：50, 52)



多おほくのレーマン人じんが、ニーファイやリーハイとともに、ニーファイ人じんにおしおしに教おしえをときました。(ヒラマン6：1, 6-7)